

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人黒潮会 デイ支援センターみんなの力（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日 ～ 2025年1月11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年12月16日 ～ 2024年12月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達に合わせたクラス編成を行い、小学1年生から、高校3年生まで幅広く通うことができている。また、自立に向けた特化型のクラスもあり、将来を見越した活動も行っている。	クラスごとに、子どもの“目指す成長”を、職員間で共有している。また、全クラス担任制を取り入れており、クラスのカラーを大切にしている。	“発達段階”に合った活動の提供がよりできるよう、職員で話し合う場面を作っていくたい。
2	意思疎通の難しいお子さんのクラスが、製作物等を持ち帰る際には、必ずコメントを添付している。（活動での様子や頑張ったところなど保護者と共有できるように）	保護者が活動の様子をイメージできるような記載の仕方を心掛けている。	現在はコメントのみであるが、写真等も添付していきたい。
3	支援プログラムが固定化しないよう工夫している。	月案を立てる段階で、つながりのある活動を心掛け、見通しを持って楽しめるように配慮している。	子どもの“好きなこと”を知り、活動に活かしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置は満たしているものの、個別配慮を必要とするお子さんが重なるとう人手が足りずに通える回数が制限されてしまう。	個別配慮を必要とするお子さんの利用日が重ならないようにしていることで、必要な量の支援が受けられていない。	個別配慮のお子さん、そうでないお子さんを組み合わせたクラス編成を行い、グループごとに職員を配置することで、回数制限の緩和に努めたい。
2	コロナ禍をきっかけに地域との交流が減っている。	地域交流を目的とした、施設全体の行事“秋祭り”があったが、コロナ禍をきっかけに実施しなくなった。その後も再開していない。	地域と交流できるような企画が必要と感じる。
3	地域の児童クラブとの交流が実現できていない。	集団が苦手なお子さんや、ルーティーンが崩れることで不安定になるお子さんが多いことから実現していない。	交流が良い経験になるお子さんもいるので検討していきたい。